



三井の森

三井中学校便り No. 2
平成23年4月11日(月)



1 学期始業式で述べたお話を掲載します

入学式を終えて、二十三年度がスタートしました。昨年度より三名少ない、全校生徒三十一名によるスタートです。人数は少なくとも、皆さんには元気よくいろいろな活動に取り組んでいって欲しいと思います。

先に報告したいことがあります。先月発生した東日本大震災による被災者の方々に輪島市が救援物資を送ることになっていましたが、本校の生徒会も協力してくれましたね。何が出来るかを考えて、三井地区の皆さん方から物資を提供して頂けるように呼びかけをしてくださいました。分担して地区の全部の世帯にお願いのビラを配布しました。

その結果、多くの方々が応えてくださいました。今月1日に市役所の方が受け取りに来ましたが、学校と公民館に保管していたものを合わせると、大きなワゴン車2台分になりました。ご協力いただいた地区の方々に感謝を申し上げます。



公民館で



学校で預かったもの

また、ビラ配布をした2年生3年生全員、そして、物資の整理や搬出に協力してくれた人達、自分たちができることをきちんとやること、その行動を示してくれたことを頼もしく思います。

さて、三年生の皆さん。最高学年になりました。いつも言うのですが、三年生は、その学校の顔です。学校行事や生徒会活動、そして、部活動。さまざまな活動において、最上級生として後輩をリードし、責任をもって取り組む立場にあります。そして、三井中学校の代表として学校外で活動することも多くなります。この地域の方々から、また、大会等でもその地域に出た場合でも、三井中学校の生徒は凛々しいですね、また、よく頑張りますねと言われるように、一人一人が意識を持ってさまざまな活動に取り組んで下さい。前向きに精一杯取り組んでいる様子は、大変好ましいですし、自分自身の力を伸ばすことにもなるのです。



後ろ姿は、生徒会長小畑くん

中堅となった二年生の皆さん。人数は少ないですが、学校の活気を創り出すのは皆さんです。下級生もいます。生半可なことをやっていますはいけません。三年生とともに知恵を出し合いながら、進んで物事に取り組んでみて下さ

い。もちろん、学習も内容がパワーアップしますから、皆さんの取り組みもパワーアップしなければなりません。一年生のときに身につけてきた力を活かしながら、さらに伸ばしたり、補ったりするのに学習時間をちゃんと確保してください。

一年生は、まだ不安が大きいかもしれません。学校生活が小学校とは大きく変わります。学習する量が増え、また、内容も少し難しくなります。行事も異なり、生徒会活動や部活動などもあります。しかし、考え方を変わると、何もかもが新鮮だともいえます。新しいことに取り組むことはわくわくしたり、期待に胸が弾んだりします。先輩たちを見習いながら、前向きに取り組んで下さい。

最後に、皆さんには仲間がいます。三十一名全員が学年を超えて、お互いに大事な仲間です。その一人一人は、個性を持っています。その違いを認め、尊重しながら、自分の個性も発揮し、また伸ばすことが大事です。この認め合い、伸ばすことが三井中学校全体の力を大きくしていくもっとも大事なことだと思います。

これからの皆さんの活躍を期待して、始業式のことばとします。

入学記念写真を撮りました



今年度新任の教職員です (敬称略)



向かって左から

藤谷、小田原、斯波、天野、紺谷、寺谷、浦下

入学式では、PTA会長萩野さんから祝辞をいただきました。三井の子ども達は、家庭、学校だけでなく、地域社会、地域の自然も含めたオール三井によって育てられているという趣旨は、全く、その通りだと思います。学校がその一翼を担っていることは紛れもなく、誠心誠意、教育活動に取り組んでいくことを職員一同、肝に銘じております。

【部活動顧問】

- ◎男子バスケットボール部：斯波、天野
 - ◎女子バスケットボール部：小田原、紺谷
 - ◎文化部：赤崎、友延 (時限設立)
- 赤崎先生、友延先生にはバスケ部のお手伝いをしていただくこともあります。

※1年生は、まだ体も心も慣れていませんので、しばらくは早めに終了します。